

Main racing program table with columns for race numbers (18 to 1), track names (e.g., 東京), and detailed race information including horse names, jockeys, and odds.

東京 11 発走

Handwritten notes and statistics for the Tokyo 11 race, including horse names and jockey information.

第79回オークス(II)

Handwritten notes and statistics for the 79th Oaks race, including horse names and jockey information.

Analysis section titled '本紙の見解' (This paper's opinion) featuring 'アーモンドアイを信頼' (Trust in Almond Eye) and '確定後情報' (Confirmed information). Includes horse names like Almond Eye, Ririnoburu, and Maurella, along with betting advice and race analysis.

1-18	483	7	999	16	999	12	999
2-17	1.1	8	59.0	17	999	13	51.9
3-94.6	4	9	999	18	999	14	420
4-5	245	10	593	19	999	15	999
5-142	197	11	434	20	561	16	999
6-126	126	12	999	21	100	17	427
7-787	8	13	35.6	22	168	18	999
8-29.0	9	14	346	23	643	19	999
9-999	999	15	999	24	12	643	490
10-999	999	16	384	25	555	16	999
11-322	11	17	394	26	999	17	999
12-999	999	18	183	27	581	18	999
13-14.4	13	19	999	28	115	19	999
14-275	14	20	999	29	590	20	999
15-999	999	21	540	30	48.1	21	999
16-999	999	22	482	31	323	22	999
17-999	999	23	323	32	386	23	999
18-999	999	24	31.5	33	999	24	999
19-999	999	25	325	34	999	25	999
20-999	999	26	999	35	999	26	999
21-999	999	27	999	36	999	27	999
22-999	999	28	999	37	999	28	999
23-999	999	29	999	38	999	29	999
24-999	999	30	999	39	999	30	999
25-999	999	31	999	40	999	31	999
26-999	999	32	999	41	999	32	999
27-999	999	33	999	42	999	33	999
28-999	999	34	999	43	999	34	999
29-999	999	35	999	44	999	35	999
30-999	999	36	999	45	999	36	999
31-999	999	37	999	46	999	37	999
32-999	999	38	999	47	999	38	999
33-999	999	39	999	48	999	39	999
34-999	999	40	999	49	999	40	999
35-999	999	41	999	50	999	41	999

年	馬名	着順
10年	アババネ	1着
11年	マルゼリナ	1着
12年	ジェニールドンナ	1着
13年	アユサン	4着
14年	ハブスター	4着
15年	レツゴードンキ	2着
16年	ジュエター	不出走
17年	レヌミノル	13着

馬番	オッズ	馬番	オッズ	馬番	オッズ
11	36.4	2	4.8	13	12.5
18	65.3	1	17.1	12	15.3
113	44.6	18	8.2	132	15.7
21	24.1	12	20.7	213	27.2
23	53.3	2	22.4	1312	31.8
25	68.1	2	25.9	813	32.1
26	58.3	2	30.1	1381	37.8
28	18.1	3	33.6	2131	38.1
211	84.5	6	35.2	2813	38.7
213	10.6	2	37.0	8213	39.7
313	83.7	5	42.2	13213	44.4
81	44.4	2	43.8	13118	55.5
82	19.2	2	45.3	13216	56.8
83	90.7	1	47.3	13215	69.5
86	81.7	8	49.0	21113	70.2
813	15.8	5	53.6	1313	82.8
131	16.3	1	58.6	281	84.1
132	4.9	2	65.6	13211	84.3
133	34.4	2	70.4	13816	85.0
135	43.4	1	75.1	2133	88.6
136	38.1	8	80.7	8131	89.2
138	6.5	2	83.8	821	89.8
1310	81.6	2	84.0	1132	104.2
1311	58.0	1	85.6	13815	104.6
1317	82.1	1	90.7	2118	106.2

GIを斬る

今年の桜花賞はタイムも映像もインパクト大だった。桜花賞①②着馬がオークスでも①②着というケースは、オークスの長い歴史の中でも93年、09年、12年の3回しかないレアケース。今回の調査テーマは「はたして今年4回目があるか？」である。

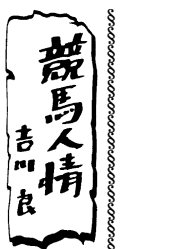
ただ、このレアケースが近10年で2回発生していることは、おそらく偶然ではない。

鍵は阪神コースのリニューアル。外回りコースが誕生して7年以降、スピード優先の桜花賞から、総合力が求められるようになり、オークスとの関連性もグンと深まった。

①桜花賞出走時まで不敗、または、桜花賞前に重賞勝ち
②オークスでこの3つの条件をクリアしていた馬は、07年以降「5300」。3つの条件はかなりハードルが高いのだが、実はこの「5300」には、該当馬が同年に2頭いたことが2回だけある。それが、レアケースを決着となった09年と12年。レアア決勝も、もはや必然と思える。そして今年も該当馬2頭

③アーモンドアイ
④ラッキーライラック
⑤アムステルダム

割って入ればサトノワルキューレ・リリーノ・ブルと見ているが、4回目のレア決着を本線とした馬券で挑んでみる。
〔編集部・中西徹〕



4月20日だったか、朝8時に電話が鳴った。私の年齢だとこの時間の電話は悲しい知らせが多い。

ドキッとしながら受話器を取ると、「おぼろげにさしてまーす。ナオヤです。50歳になりました」という明るい声。アメリカのケンタッキー州の吉田直哉からだ。彼はウインチェスターファームを営んでいる。

彼はテンポイントやフジヤマケンザンを生産した北海道勇払郡早来の吉田牧場で生まれて、フクあってアメリカで奮闘して

という。うーん、不思議な気がする。

4月29日、東京11Rスリートピースで、ウインチェスターファームの生産馬ランドネが、11頭立て4番人気、戸崎騎乗で勝った。

ランドネが第79回オークスのゲートに入る。私としてはおだやかではなく、人気はなきそうだが、そんなことは言っていられない。

こちらとオークスとなれば、28頭立て21番人気で勝ったノアノハコブネとか、22頭立て10番人気で勝ったコスモドリームが浮かんでくる。オークスは終わってみなくちゃわからねえ、ひとりごとを言い、ランドネの単勝、馬単⑭①、⑭②⑭④、⑭⑧、⑭⑩⑬を買う。

あぁ、人生、おもしろい。

オークス 過去10回の成績

馬番	馬名	性	年齢	斤量	騎手	勝タイム	通過順	人馬	勝連率
08東京	トルホビー	牝	3	55	添	2:28.8	7(18)7(4)	970	0.00
09東京	エフティマイア	牝	3	55	蛇	2:28.8	7(16)5(3)	24080	0.00
10東京	レジーナ	牝	3	55	小牧大	2:28.8	7(10)0(0)	39320	0.00
11東京	レジーナ	牝	3	55	安藤勝	2:26.1	1(16)5(4)	140	0.00
12東京	レッドディザイア	牝	3	55	四水	2:28.8	1(10)9(5)	320	0.00
13東京	ジェルミナル	牝	3	55	福永	2:28.8	3(7)10(0)	440	0.00
14東京	アババネ	牝	3	55	蛇	2:29.9	1(3)13(1)	210	0.00
15東京	サンテミリオン	牝	3	55	横山典	2:28.8	1(10)1(8)	530	0.00
16東京	アグネスワルツ	牝	3	55	柴田善	2:28.8	2(2)2(2)	1870	0.00
17東京	サンテミリオン	牝	3	55	後藤浩	2:25.7	9(17)6(7)	3720	0.00
18東京	アグネスワルツ	牝	3	55	柴田善	2:28.8	1(11)1(1)	42750	0.00
19東京	ジェンティルドンナ	牝	3	55	池添	2:28.8	1(3)14(2)	104460	0.00
20東京	ジェンティルドンナ	牝	3	55	内田博	2:23.6	1(4)4(5)	560	0.00
21東京	ウィルシーナ	牝	3	55	内田博	2:28.8	5(8)13(2)	820	0.00
22東京	アムステルダム	牝	3	55	松本	2:28.8	6(6)7(9)	1900	0.00
23東京	アムステルダム	牝	3	55	幸	2:25.2	2(9)17(7)	2850	0.00
24東京	メジャーロ	牝	3	55	幸	2:25.2	1(1)9(9)	13880	0.00
25東京	メジャーロ	牝	3	55	内田博	2:28.8	2(7)4(1)	31120	0.00
26東京	メジャーロ	牝	3	55	若川	2:25.8	9(1)9(8)	980	0.00
27東京	メジャーロ	牝	3	55	若川	2:25.8	1(4)16(1)	380	0.00
28東京	メジャーロ	牝	3	55	北村	2:25.0	7(7)7(3)	1730	0.00
29東京	メジャーロ	牝	3	55	北村	2:25.0	1(2)9(3)	680	0.00
30東京	メジャーロ	牝	3	55	北村	2:25.0	1(5)5(4)	1160	0.00
31東京	メジャーロ	牝	3	55	北村	2:25.0	1(8)6(6)	2000	0.00
32東京	メジャーロ	牝	3	55	北村	2:25.0	1(3)3(4)	300	0.00
33東京	メジャーロ	牝	3	55	北村	2:25.0	1(4)1(2)	420	0.00
34東京	メジャーロ	牝	3	55	北村	2:25.0	1(8)1(5)	650	0.00
35東京	メジャーロ	牝	3	55	北村	2:25.0	1(4)2(2)	240	0.00
36東京	メジャーロ	牝	3	55	北村	2:24.1	1(16)1(5)	2290	0.00
37東京	メジャーロ	牝	3	55	北村	2:24.1	1(13)3(2)	2790	0.00



問題は距離ではなく間隔

今年のオークスの焦点はアーモンドアイに本命を打つかどうかだ。議論の的になっていく「距離」、議論の的になっていく「間隔」。

アーモンドアイはこれまで最低でも2ヶ月あけてきた。たまに「あいた」のではなく、意図的に「あけた」理由は恐らく蹄が小さくて弱いから。今でも

側面をパチエイクロックスで埋めている。桜花賞の直線で何層も手前を変えたのも、その影響も手前ではない。桜花賞後に次はダービー、という話が出たのも、少しでもレース間隔をあげたかったからではないか。

桜花賞は3ヶ月ぶりだったからこそアーモンドアイ本命だったが、今度には2ヶ月もあけないで本命にはしない。ならば半自動的に本命はラッキーライラック。桜花賞の1枠1番という苦しい状況でも正攻法を取って②着なら、ここで評価人気が下がるのがおかしい。

10年のオークスを①番人気で④着止まりでも、その弟のレイノボーライン(パイオニアパイオの叔父さん)は、今春の天皇賞馬である。

初年度の産駒から菊花賞馬キセキを送った種牡馬ルーラーシッパは、スタミナと底力を伝えている。このオークスにはリリーノブルを筆頭に、4頭も出走させてきた。

シスターワルツ(父ルーラーシッパ)は、芦毛ではないから気付けられないが、母ミラクルワルツは、ゴールドシップの半姉である。

ロサグラウカ(父ルーラーシッパ)の母エアグルーヴは96年のオークス馬。は、祖母ロズバドが01年のオークス②着馬であり、3代母ロゼカは、エアグルーヴの勝ったオークスを④着している。

今年、過去10年で最速の2分00秒5だった「忘れな草賞」組がなんと5頭も出走する。

15年の勝ち馬ミッキークイーン(忘れな草賞)は2分03秒5だった。すると、オールフォーラは軽視できない。

忘れな草賞①着から激変して勝ってきたトウワールテミスは、14年の菊花賞をレコード勝ちしたトウワールテミスの4分の3妹である。

〔柏木〕

馬連平均 8790円

①人気：(4 2 1 3)
②人気：(1 3 2 4)
③人気：(2 0 1 2)
④人気：(1 3 2 4)

⑤強いが波乱が極端な傾向。
⑥ステップ別傾向と狙い馬

⑦桜花賞(13連対)
⑧2着：①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

㊺㊻㊼㊽㊾㊿

㊻㊼㊽㊾㊿

㊼㊽㊾㊿

㊽㊾㊿

㊾㊿

㊿

《中長馬について》

中央競馬における勝馬投票法との拡大率は以下の通りです

○単勝：複勝：80：0%

○単勝・複勝：ワイド：77：5%

○馬単・3連複：75：0%

○3連単：72：5%

○WIN5：70：0%

JRA 日本中央競馬会

小未曾大祐

オークス。抵抗する気持ちも少しはありましたが、直前の追い切りが感動的なほどの、異常とも言えるほどの加減力。次元が違う⑬番アーモンドアイ、迷いなく1着固定。時代が悪かった②番ラッキーライラックを2着固定、3連単で流します。

配当美味は⑩Rオースミラナキ。過去15戦で掲示板を外したのは3戦だけの堅実な馬。弱点はスタミナと底力ですが、カバリーしやすい2000Mでは2戦2勝。前走は遅い流れとはいえ、前半800Mから一気に位置を押し上げ、直線も脚の鈍ることなく、5馬身差の独走状態。豊富なスタミナから長く良い脚が使える馬、体力勝負な昇級戦も壁にはなりません。

①第85回日本ダービー登録馬

②エタリオウ

③エポカドロー

④オウゴン

⑤カウコンマンドール

⑥グレイ

⑦ゴズミックフォース

⑧ゴフオザサミット

⑨サンリヴァル

⑩ジャンナレウノ

⑪ステイファルシユ

⑫ステイヴァイオ

⑬タイムフライヤー

⑭タイムプレミアム

⑮トウワールテミス

⑯アラステリアン

⑰アイトーン、リリーノ

⑱ケイティクレバー

⑲トウワールテミス

⑳トウワールテミス

㉑トウワールテミス

㉒トウワールテミス

㉓トウワールテミス

㉔トウワールテミス

㉕トウワールテミス

㉖トウワールテミス

㉗トウワールテミス

㉘トウワールテミス

㉙トウワールテミス

㉚トウワールテミス

㉛トウワールテミス

㉜トウワールテミス

㉝トウワールテミス

㉞トウワールテミス

㉟トウワールテミス

㊱トウワールテミス

㊲トウワールテミス

㊳トウワールテミス

㊴トウワールテミス

㊵トウワールテミス

㊶トウワールテミス

㊷トウワールテミス

㊸トウワールテミス

㊹トウワールテミス

㊺トウワールテミス

㊻トウワールテミス

㊼トウワールテミス

㊽トウワールテミス

㊾トウワールテミス

㊿トウワールテミス

ボウマン

戸崎

北村宏

丸山

石橋

岩田

藤岡

藤岡

武田

横山

内田

川田

池添

福永

永